

平成22(2010)年12月20日

第45号

稲門会 一夫彦利行子次男
 稲健保邦明尚秀信利昭
 世田谷 上村島村坂内子原林
 川岩 寺岩宮大兼江若

〒156-0043
 東京都世田谷区松原5-19-4
 横田吉明
 TEL/FAX03-3324-7046



世田谷稲門会会報



授 顧問
 平成二二年 民主党最高
 顧問
 その他 中華人民共和国復
 旦大学経済管理学院名誉教

平成二三年新年会は一月二二日(土)一二時から千代田区九段下のホテルグランドパレスで開催することになった。
 今回は講演者に平成の水戸黄門こと民主党の最高顧問衆議院議員渡部恒三様に「当面の政治課題を語る」という演題で講演していただく。その後、懇親会、恒例のピング・ゲームなど楽しい企画が予定されている。
 また会場では今回も写真部会の会員の作品が展示される予定。
 会費は九千円。

衆議院議員
 渡部 恒三氏 略歴
 ・福島県南会津出身
 ・昭和七年五月二四日生れ
 ・昭和三〇年三月早稲田大学第一文学部卒業
 ・選挙歴：衆議院議員一四期
 昭和四四年 第三二回衆議院議員総選挙に初当選
 昭和五八年 厚生大臣(第二次中曽根内閣)
 平成三年 通商産業大臣(第一次宮澤内閣)
 平成五年 新生党結成
 平成六年 新進党結成 党幹事長代理
 平成八年 衆議院副議長
 平成一七年 民主党最高顧問
 平成二二年 民主党最高顧問

渡部恒三民主党最高顧問が講演
 新年会 一月二二日(土) 正午
 九段下 ホテルグランドパレス

— 母校の今 — 第18回

〈早稲田大学の附属・系属校〉紹介 =連載その③=

学校法人 大阪繊維学園

早稲田大学系属・早稲田摂陵中学校・高等学校



「摂陵中学校・高等学校」(大阪府茨木市)が、昨(2009)年、大阪地区初の早稲田大学系属の中高一貫校『早稲田大学系属・早稲田摂陵中学校・高等学校』(以下早稲田摂陵という)として再スタートした。さらに、今年度2010年からは中学・高校とも男女共学制をスタートさせた。

『早稲田摂陵』は校訓・【自律・責任・質実】を柱として、「摂陵」の歴史と「早稲田」の教育理念とを融合させ、〈地域社会に貢献する人材の育成〉、〈国際社会に貢献する人材〉の育成を目指す。

『早稲田摂陵』は元々、日本経済を根本から支えてきた繊維業界の関係者が、人材育成のために設立した「大阪繊維学園」の設置校として開校されたのが始まりで、以来48年余の歴史を持つ。

学園長の藁谷(わらがい)友紀氏(写真上)は早稲田大学で教育学部長を歴任し、さらに教職大学院の立ち上げにも携わるなど教育現場の経験が豊富で、現在、早稲田大学教授・常任理事も兼務している。

同校は早稲田大学には約40名程度の推薦枠を持つが、中高一貫校としてバランスのとれたカリキュラムと、きめ細かなクラス編成などにより、早稲田大学をはじめ、全国の国公立難関大学への進学指導にも積極的に取り組み、実績を積み上げている。また、早稲田大学との提携により、大学の講義がインターネットで聴講できるほか、大学の教員や運動部の監督を招いての公開講演会が月に1~2回開催されている。さらに、「早稲田渋谷シンガポール校」をはじめ、大学の海外提携校との活発な交流や、海外短期留学制度を設けるなど、国際理解教育にも力を入れている。なお、約2万3,000坪という広い敷地内には、附設の「新清和寮」(写真下)を持ち、野球・サッカー・ラグビー・陸上が同時にできるグラウンドが2面もあり、部活も盛んである。

「早稲田摂陵」の今後の発展に大いに期待したい。

(大内 秀行/記)



サンセットクルーズ納涼会 九二名 参加

世田谷稲門会は九月四日(土)に東京湾で「東京ベイ・サンセットクルーズ」を開催した。例年に無い厳しい残暑の中であったが、シーライン東京の誇る豪華客船「シンホニーモデルナ」の一番大きな客室を借り切り二時間一五分余りの船旅を楽しんだ。今回で三度目の船上納涼会となるが参加者は会員及び家族を含め九二名を数え、最高の人数を記録した。



パーティーは司会・進行を鈴木副会長が担当し、岩上健一会長は挨拶の中で昨年からの会員増強の成果の報告があり、各ブロック・部会の盛況振りを披露された。乾杯の音頭は元幹事長の前原祖彦氏が行い、パーティークルーズの歴史を語って頂いた。出航と共にビールやワインを嗜みながら、フランス・コース料理を賞味し、心地良いハワイアン音楽とフラダンスを楽しみ、更に途中でデッキに上

がり、潮風を受けながらのパノラマ景色を満喫した。東京湾周辺の発展振りには驚嘆するばかりであった。夕暮れ時の帰港の前に、元応援部監督の岩上会長の指揮で「校歌・都の西北」を全員で熱唱し散会した。
尚、今回の企画・運営は千歳会とさくら会の両ブロックが担当した。
(鈴木 宏治/記)

校友会創立百二五周年記念 稲門祭盛大に挙行

「ともに世界へともに未来へ」のスローガンを掲げた校友会創立百二五周年記念稲門祭が一〇月一七日(日)盛況裏に開催された。



一七日の稲門祭の行事は校友講演会・大隈講堂の音楽祭など従来以上に盛り沢山だった。
また、福引き抽選会では車が三台当たるなど豪華な賞品が準備された。
恒例の大隈庭園での世田谷稲門会の焼き鳥は今年も女性会員の協力もあり、三万八千円と売上新記録を達成した。



校友会百二五周年 記念碑設置

九月一七日に大隈庭園に「ともに世界へともに未来へ」に未来へ」羽ばたく意の記念碑が設立された。



部会だより

芸術・芸能鑑賞

「芝居・音楽・それに落語と3年目も内容豊富に」

7月31日に20名の出席をえて3回目の総会を行った。鑑賞部会の総会以後に案内したイベントを紹介する。8月25日の「椿山荘アフタヌーンコンサート」は韓国の新星・フージン君の日本初ライブでゲストはロミ・山田、予感ではフージンはかなり売れそう。8月27日には三越劇場での「若獅子公演 知覧・蛍火」は演出も良く、内容豊富で参加者に好評。会員の花田玲子さん出演の「懐かしの映画音楽アルバム」と「シャンソンコンサート」はベギー葉山・マーサ三宅が迫力満点の健在ぶり。金井克子の相変わらずの若さに脱帽。

10月22日の花田さんが出演の「るたんフェスティバル」は楽しめた。11月に入り12日の「三越落語会」は落語協会の前・現会長の出演で鈴々舎馬風の痛快な面白さと柳家小三治の名人芸を堪能した。他に小せん・扇橋・佐談次・いずれも芸達者揃い、補助席を出すほどの盛況ぶりはうなずける。この後は12月2日の平幹二郎主演の「アントニーとクレオパトラ」(シアター1010)は楽しみ。又、金さんの「アンサンブルOFTウキョウ」の定期演奏会は7月15日・10月15日・12月15日に紀尾井ホールで行われ、最高峰の演奏に感銘を受けた。今後の案内予定は来年2月に花田さんのポピュラー音楽会、3月に新橋演舞場での歌舞伎鑑賞、5月に国立劇場での文楽を予定している。

新入会を歓迎いたします。ご家族・ご友人と一緒に鑑賞会をお楽しみ下さい。

世話人：柏 良子 麻生卓司 鈴木宏治
申込み先：鈴木 TEL/FAX 03-3307-2201

(鈴木 宏治/記)

俳句

第56回さくら句会は、10月12日(火)桜新町区民集会所にて午後1時半より高橋悦男先生の指導のもとに、兼題の(りんご)の句と自由句を持ち寄って句会を開催しました。当日の高得点句を紹介致します。

海引きて秋の大潮渦となる	高橋悦男(悦男)
しぐるるや一本杉の道しるべ	江原利次(利水)
口あけて鯉の寄り来る秋日和	富塚兆弥(兆弥)

11月8日開催の句会の兼題は、季節に相応しい(落葉)を詠み込んだ俳句と自由句を持ち寄って句会を開催。当日の高得点句を紹介致します。

銭湯の煙まっすぐ冬に入る	松尾 守(まもる)
銅像はほら吹き男爵銀杏散る	暮田忠雄(上馬の)
紅葉狩今年も残る日々僅か	草谷好孝(好孝)

俳句に関心のある方、特にこれから俳句を始めてみようかと思う方は気軽にご連絡下さい。俳句を通して日本の四季の素晴らしさを一緒に楽しみましょう。

連絡先：江原 利次 TEL/FAX：5760-7118 メール：toshi@r01.itscome.net

(江原 利次/記)

麻雀

①7月11日(日)、晴天の一日、28名の美男美女が祖師谷大蔵駅徒歩3分の麻雀荘「天狗」(以下三区親善麻雀大会を除き全て会場は同一)に集い、腕と口と運を頼りに賜杯獲得に鏖を削った。試合は老練な秋元氏がスタートから飛び出し楽勝かと思われたが、最終回に不覚の大敗を喫し、この間隙を試合巧者の木村、池田の両氏が突き、まさかの逆転劇となった。優勝：木村滋、準優勝：池田良夫、3位：秋元孝禧、4位：加藤禮子、5位：高橋毅、6位：武田一成

②8月28日(土)、渋谷駅前の麻雀荘「スリーハンドレッド」で目黒・世田谷二区親善麻雀大会を目黒稲門会麻雀部会主催で行った。当部から8名が参加し、和気藹々の雰囲気の中、親睦を深めた。

③9月12日(日)、大田稲門会麻雀部より歴戦の勇士3名を迎え29名が実力No.1を争った。試合は遙々大田区より遠征してきた藤田氏と地元の高橋氏(毅・義幸)のトップ争いかと思われたが、遠征の疲れから藤田氏、初めての優勝争いを意識して最終回大量失点を計上した高橋氏の間隙をベテランの奥田、寺澤両氏に突かれ、以下の通りの結果となった。優勝：奥田隆、準優勝：寺澤隆夫、3位：藤田武夫、4位：福田喜朗、5位：高橋義幸、6位：阿部信之

④10月16日(土)、菊香る日本晴れの一日、20名の善男善女が集い勝杯を争った。試合は初回から飛ばした河村卓郎氏が、最終回マサカの大負けを喫しながらも余裕をもって優勝した。優勝：河村卓郎、準優勝：高橋義幸、3位：国澤俊一、4位：田島功統、5位：脇坂元彦、6位：福田喜朗

⑤11月14日(日)、日本晴れの一日、大田稲門会からの歴戦の猛者2名を加えた計29名の紳士淑女が集い、口・腕・運を総動員して勝杯を争った。試合は尻上がりに実力を発揮し、最後まで気を緩めず非情に徹した河村暉子氏が2位以下をダブルスコアで引き離して楽々優勝した。大田区の2氏は遠征の疲れからか今回は奮るわなかった。優勝：河村暉子、準優勝：木村滋、3位：宮木甫、4位：小河原野泰、5位：吉村善智、6位：熊本ちづる

(下谷内 堯/記)

ゴルフ



左から西野さん、森さん、平井さん、高橋さん

平成22年度のゴルフ部会コンペは4月中津川CCの開幕戦に始まり、11月八王子CCの最終戦をもって全日程を終了した。本年は2回の世田谷三田会との懇親コンペを含め6回のコンペ開催（公式戦は4回）となりました。公式戦では延べ172名と前年を若干下回りましたが、多くの方々が参加されました。本年も素晴らしい仲間達と共に楽しくそして熱い戦いを演じてまいりました。さて、熱戦を繰り広げました後半3戦の様様をご報告します。

本年第3戦目になる第64回コンペは9月に曇り空で暑さも残ったファイブハンドレッドCで開催。参加者は新入会員4名を含めて久しぶりに50名の大会に乗り、プロのトーナメントも開催されている素晴らしい



貸切バスの中でのパーティ風景

コースでのプレーを楽しみました。

続いて10月に入り、今回は三田会主催で曇り空の烏山城CCにて第3回稲門会・三田会懇親コンペを実施しました（新ペリア方式）。参加者は23名と減少しましたが、顔馴染みになった早慶メンバーでお互いに励まし合いながら難コースに挑戦しました。パーティは貸切バスの中で行われ、表彰式のあとは酒盛りで盛り上がり和気藹々のうちに帰路に着きました。

本年最終戦の第65回コンペは秋の深まった11月晴れ時々曇り、無風の好条件のもと八王子CCにて実施されました。緑濃い松林に囲まれたきれいなコースだが、アップダウンがきつく、砲台かつ速いグリーンに全員が悩まされながらも無事ホールアウト、本年最後のコンペを終了しました。表彰式後、森昌治代表世話人より本年も多くの参加を得たことを謝すると共に、来年もよろしくと挨拶がありました。



左から竹入さん、岩上さん、岩城さん、秋元さん

本年後半3戦の結果を下記いたします（敬称略）。来年の開催日程については次回会報にてお知らせ致します。また、新しい方々の入会をお待ちしています（現在104名）。

- 第64回9月14日（火）ファイブハンドレッドC 参加者50名。優勝者：総合・西野哲夫、Gシニア・平井恒夫、シニア・高橋毅、レディース・森春野
- 第3回稲門会・三田会コンペ10月22日（金）烏山城CC 参加者23名。優勝者・井上修（三田会）、準優勝・桃井清治（稲門会）、3位・榎並俊一（稲門会）
- 第65回11月25日（木）八王子CC 参加者40名。優勝者：総合・岩城好宏、Gシニア・秋元孝禧、シニア・岩上健一、レディース：竹入啓子（桃井 清治/記）

ウォーキング

10月10日（日）JR目黒駅午後1時に12名が参加、行人坂から大鳥神社にお参りして、五百羅漢で有名な羅漢寺を見てまわる。更に江戸時代から信仰の厚い目黒不動龍泉寺へと歩いて休憩、植林で良く整備された林試の森公園を散策しながら長いアーケードで有名な武蔵小山商店街を気ままに歩き回りながら解散。この様に毎回3時間半程度のゆったりした散策です。

10月31日（日）JR亀戸駅午後1時に16名が集加、亀戸界隈を散策しながら菊祭りで賑わう亀戸天神にて深まる秋の景色を堪能する。この日の圧巻は460メートルを超える高さまで伸びて来た東京スカイツリーを目の前にする所まで歩き、思い出の1頁を刻みながらの解散となりました。



今後のスケジュールを紹介いたしますので、健康と楽しい仲間作りに参加ください。

- 1月9日 馬込文士村めぐり、天祖神社～弁天池～大田区立郷土博物館～龍子記念館 新年会、大連（中華料理）会費4,000円
- 2月13日 目黒川から北沢川をさかのぼる、池尻大橋駅から豪徳寺駅まで
- 3月13日 神田川遊歩道散策、井の頭線富士見駅から下高井戸駅まで
連絡先： 江原利次 TEL/FAX：5760-7118
メール： toshi@r01.itscom.net

（江原 利次 / 記）

囲碁将棋

囲碁部第37回囲碁の会合宿開催

今年の夏は異常で10月に入っても暑さが続き、9月の暑さが舞い戻った感じがした。10月26日(火曜日)、世田谷区内上用賀に所在する社会福祉法人老人休養ホーム「ふじみ荘」にて、世田谷稲門会囲碁の会を1泊の合宿で開催した。10時に集合し、まずは朝風呂へ。ここの風呂は、近くにある世田谷区のごみ処理場の燃料で沸かしたお湯を引いているが、大風呂の設備も行き届いており綺麗で快適である。

参加者はいつものご常連で総勢7名。最強の池松7段を筆頭に武藤7段、斉藤5段をはじめとした総当り戦。碁は何時も全体を見ながら、バランスに注意し、序盤から積極的に攻めていく棋風が強くなるこつといわれるが、中盤からは守りの棋風も必要である。手を入れないといけない場所、自陣の手薄な場所をいち早く見つけそこに一手入れる。これがなかなかできない。積極的な攻めと自陣の手薄な箇所の守りとのバランスの上に囲碁上達の秘訣があるように思われる。5時半まで対局し懇親会場へ。あとは囲碁談義。9時頃まで飲みかつ食べ、そしてまた懇談。その後又対局室へ。しかして就眠は午前1時頃になる。翌朝7時に朝風呂へ。8時に朝食後午前中一杯対局し、お昼を食べて散会した。
(矢田 廣/記)

写 真

最近の例会で10月は桜木先輩(昭21法)が自宅で咲いた草花の写真の他に若い頃の外国で撮った自分の写真を改めて紙焼きして見せてくれた。11月の例会では関根先輩(昭23法)が今年に撮った上高地の写真とともに、昭和30年代に撮った冬の北アルプス登頂の当時モノクロ写真を10数枚披露された。鮮明に写っており大変感激しました。お聞きすると山岳部部員だったそうです。長老のお二人が例会に参加され新しい作品を披露されておられるので皆さん元気を貰っています。何十年も昔の写真が披露されたので今回は両先輩の例会で発表している場面の写真を掲載します。



上の4枚が上高地の写真。
下の4枚が昭和30年代のモノクロ写真。(当時の紙焼き)



上の3枚は自宅の庭の草花。
下の1枚がヨーロッパアルプスをバックに若き桜木さんが写っている。

最近は皆さんの撮る枚数が多いので一人の発表枚数が多くなり、作品のレベルが上がっています。自然風景とスナップが中心ですがスナップは色々と範囲が広く、動物から人物、建物と視点が変わり見応えがあります。

写真部会の例会は第3木曜日ですが、以降は2011年1月20日(木)、2月は例会はお休み、3月17日(木)で午前10時より開催します。

(種谷 鴻成/記)

パソコン

- 1 8月を除く毎月第二・第四火曜日の午後2時から4時まで、松濤町のマンションを会場として部会を開催した。
- 2 毎回部会会員の約半数に当たる、10人前後の会員の出席を得て、企画担当世話人を中心に勉強会を行った。
- 3 今年度は市販のソフトを使い、その使い方の勉強を主に行った。
- 4
 - 1) Jtrim (ジェイトリム) を使った各種画像の処理。
 - (1) 画像の一部を反転させて、写し込み画像作成
 - (2) 画像に額縁を付ける加工
 - (3) 写真を各種形状(丸・星形・八角形等)に切り抜く加工
 - (4) 画像の複写と移動
 - (5) 背景色の変更 等々
 - 2) フリーソフト「縮小専用」の使い方
 - (1) 多数の画像の同時縮小
 - (2) 画像ファイルの圧縮率指定。
 - 3) 圧縮解凍ソフト「+ Lhaca」の使い方
 - 4) 自分独自の認印の作成
 - 5) Excelの住所入力支援
 - 6) YouTubeからの音楽のダウンロードの方法

(高橋 毅/記)

スポーツ観戦

東京六大学野球4季ぶりに優勝!

早稲田は50年ぶりの優勝決定戦を制し、42度目の優勝を達成しました。11月3日の早慶決勝戦は4万人近い超満員の神宮球場で行われ、早大は斎藤・大石の有終りレーにより10対5で快勝して春の雪辱を果たしました。

世田谷稲門会のスポーツ観戦部会で観戦した11月1日の早慶1回戦には40名が参加、勝利を期待して応援しましたが、早稲田の誇る強力投手陣(ドラフト1位トリオ3人)が慶応の強打の前に打たれ、0対2の完敗でした。試合後には第2戦の必勝を期した祝勝会の予定を残念会に変えた懇親会で盛り上がりました。

残る今期の他のスポーツでは、野球優勝の勢いを背景にラグビーは対慶応、対明治を破り対抗戦グループの優勝を経て大学日本一になって欲しいものです。また出雲駅伝と伊勢路を走った全国大学駅伝に連勝した駅伝チームも、正月の箱根も制して大学駅伝の3冠を達成することを期待しています。大いに応援しましょう。

(岸田 正和/記)



ボウリング

引き続き世田谷オークラブオウルにおいて毎月一回の渋谷稲門会との合同開催を実施。会員の高齢化と体調不良による退会が増加して参加者が減少していますが、お互いに元気よく声援を送りながら投球を楽しんでいます。

最近の活動状況は以下の通りです。

7月11日(日)参加者8名。124点:高橋順子、116点:武藤哲、111点:高橋善一郎。今回は高橋夫妻が制球の良さで揃っての健闘。

8月22日(日)参加者4名。今月は35℃超の猛暑続きで参加予定者が多数欠席。小生頑張ってストライク2、スペア5の145点を出しての暑気払い。

9月26日(日)参加者7名。今回はレーンのせい(か?)ボウルが思うように転がらず、皆100点に届かず残念でしたが、お互い元気よく楽しい会話を交しながら投球できたのが最高でした。

10月は日曜日の予約が取れずに休会。

例会は原則として毎月一回11時から開催、3ゲーム約1時間半、1レーン2~3名で交代して投球していますので、高齢者でも殆ど体力的負担はかかりません。運動不足を解消しての健康増進、楽しい会話を交しながらのストレス発散等、初めての方でも気楽にできるスポーツです。思い切って始めてみませんか。ご参加をお待ちしています。

(武藤 哲/記)

釣 り

7月4日 下田沖のイサキ釣りに須崎港光明丸より金子・柴田2名参加。型の良いイサキ20~50匹釣る。

7月24日 江戸川放水路妙典にてハゼ釣り。佐野遊船棧橋で1日千円。山住、川尻、秋元、柴田参加。ハゼはこの時期未だ小型で10cm足らず。当たりはあるが、仲々釣がかりしない。今夏の猛暑に堪えきれず11時納竿。

7月25日 平塚港庄治郎丸よりキス釣り。猛暑の釣りになったが、50~30匹の良いキスが釣れた。初めて使用した庄治郎丸は、サービスも良く船宿についてからのカキ氷を無料提供してくれた。

7月17、30日 狩野川支流地藏堂川にて柴田単独釣行。上流の養魚場より逃げたヤマメの稚魚もほとんど岩魚に喰べられて少なくなった。残ったヤマメは20cmになっていた。天然には伊豆はヤマメは居ないが、アマゴが居る。今回岩魚は40cmを頭に5匹、ニジマス25cm級5匹、ヤマメ1匹の釣果であり、溪流釣り師は居らず、静寂の中での釣りは最高であった。

8月8日 間口港利一丸よりワラサ釣り。日刊スポーツ記者の細谷さんが3匹でトップ。他1~2匹であったが、ワラサは60cm以下と小型。

8月14日 京浜運河夕やけなぎさ公園で、ハゼの岡釣り。新人の林さん初めての釣り。清水、柴田の3名参加。ハゼは型良く柴田27匹。

9月25日 間口港利一丸よりワラサ、アジ、サバ釣り。西尾氏友人の米国人も参加8名。ワラサ出ず、若干のイナダの他大アジ等20匹前後、土産は出来た。

10月2日 千葉小糸川他でハゼ岡釣り。近堂、川尻、柴田参加。カキが多い為根がかりが多いが、型は良く20cm前後釣る。

11月3日 狩川ヘヤマベ釣りに近堂、川尻2名。30匹程の釣果。

11月12日 山中湖ヘワガサギ釣りに行くも強風の為変更し、小鮎川でハヤ釣り。近堂父子、山住3名。

11月20日 江戸川行徳でのハゼボート釣り。伊藤遊船より5名参加。やはり予想通り深場に落ちず10cm許り小型でがっかりする。20匹前後で納竿。

12月に鶴見新明丸よりハゼ釣り。

(柴田 昇/記)



食べ歩き



(1) 9月25日、第45回(平成22年度第1回)を開催。参加者43名、今回はフランス料理の巨匠、三國清三氏が経営する「ミクニ丸の内」でのフランス料理とあって最多の出席者を得た。「食べ歩き部会」も回を重ねる毎に会員数も増え現在68名、今回より世話人を1名追加。柏良子世話人の司会で始まり先ず新世話人の小山田安宏氏を紹介、次に「今日は早稲田カラーのネクタイを締めております」と気配りのシェフ・ソムリエ、小笠原さんより、当店の東京野菜や東京産の食材をたっぷりつけた料理の紹介があった。保倉進氏の乾杯の発声で開宴。店内はフラワーアーティスト細沼光則氏監修のゴージャスな花々が飾られ優雅な雰囲気にもまれていた。シェフおすすめのリッチなメニューをおいしいワインと共に賞味し、秋

の稲門祭、早慶戦など歓談は尽きることなく続いた。岸田正和氏により中締め挨拶。次回第46回の例会の案内があり閉会となった。

ミクニ丸の内のある「丸の内ブリックスクエア」は三菱1号館美術館、1号館広場に隣接しており、散会後は、初秋の日差しを浴びながら食後の散策を楽しまれた会員も多かった。

(2) 有志による秋の競馬観戦の会

11月6日(土)、東京競馬場(府中)フジビュースタンド貴賓室で昼食会を兼ねた競馬観戦の会を行った。参加者は34名。今回の部屋はゴール地点に近くパノラマ大画面の真正面という素晴らしい眺めで、迫力あるレース展開にかたずをのんで観戦し、スリルを満喫できた。ビギナーズラックの言葉どおり初参加者が大当たりしたり、大穴狙いで全滅という悲喜こもごもという風景も。

でも競馬場を訪れるのは、春秋2回の観戦会のみという方が殆どである。木々の色付きは例年より薄かったが、快晴に恵まれ絶好の観戦日和であった。(柏良子/記)

青年

11月26日(金)に第3回青年部会を前回と同じ新宿の居酒屋「膳段互談や」で行いました。全員社会人ですから7時スタートでありましたが、お開きはなんと11時近く。4時間にわたって楽しい会話の弾む、とても有意義な時間だったと思います。今回残念ながら参加できなかった方もとても和やかな会ですので、是非ご参加いただければと思います。

今回の出席者は、秋山さん、倉田さん、花田さん、岡原さん、峰さん、太田さん(初参加)、西村さん、薦田さん、池松さん、中島さん、神谷の11名に加え、世話役の寺島さんにもご参加いただき、嬉しいことに会を重ねる度に活性化していく感じがします。特に今回は、現在早大スキー部監督でいらっしゃる倉田さんから早大スキー部の活動状況についてお話頂く機会に恵まれ、久しぶりに母校を懐かしむことができました。最近では野球部や競走部(駅伝)ばかりが脚光を浴びていますが、「W」のマークがワールドワイドに活躍していることに誇りを感じる時間でした。

青年部会幹事会では、次回も楽しい企画を練っています。歌手の花田さんのリサイタルを聴きに行くかもしれません。チアリーディング部の秋山さんの話を聴く機会にするかもしれません。現役世代ならではの企画を考えていますので、今後とも是非是非奮ってご参加下さい。(神谷直希/記)



カラオケ

第45回例会を三軒茶屋カラオケ館で9月19日(日)に行いました。今回は作曲家・岡千秋先生(長良川艶歌など多数)の門下生、岡容子プロをお招きして「女性プロ歌手 岡容子さんと歌う会」を催しました。新曲「春を待つ」の歌唱指導を受けたり、プロとデュエットしたり楽しいひとときを過ごしました。3時からはいつも通り4部屋に分かれ得意の唄を披露しました。

第46回例会を、総会を兼ねて三軒茶屋カラオケ館で11月28日(日)に行いました。今回の主な議題は役員改選で、平成13年以来足掛け10年間世話役を務めてきた代表世話役の清水明雄が退任し、また川井康彦と監事の大須賀肇も退任、新たに倉田豊が代表世話人に就任し、世話役の薄井好雄、塚脇一帆、西村准也は留任しました。今後は若い力で会を運営、新しい企画を出して行く事を大いに期待し、カラオケ部会の更なる発展を願う者です。総会後は3部屋に分かれ楽しく歌い、最後に校歌を斉唱し散会しました。

次回は1月16日(日)に新年会を予定しています。

(清水明雄/記)

ブロック会だより

西 北

① 7月9日(金)18時より第20回目を参宮橋「新日鐵代々木倶楽部」で開催しました。スピーチは広田進氏(昭36商)にお願いし、「銀行の現状と国債・公共事業等について」と題してお話をお伺いしました。都市銀行の推移から始まり、日本の銀行と英米銀行との違い、バブル期への突入から崩壊、BIS規制はアメリカの陰謀等々、更には国債発行残高が多いが国家としては世界最大の金持ち国であり、ギリシャ辺りとの比較はナンセンスである事。公共投資による景気回復策まで幅広く金融全般に渡っての話を聞く事が出来ました。

その後新入会員の紹介、本部の新年度体制の話があり、倶楽部の美味しい料理を食しつつ楽しく懇談しました。23名の参加でした。

② 11月19日(金)本部より川村保夫副会長もご出席頂き、18時より今年最後の21回目を何時もの「新日鐵代々木倶楽部」にて開催しました。今回は中野稲門会の赤羽根邦雄氏(昭40年政経)をスピーカーとしてお招きし「箱根駅伝予測」をお聞きした。氏は競争部おっかけとしてその名はつとに有名でその予測は的を得ていると業界では評判の方です。最初に今年の箱根駅伝の追っかけの模様を「11人目のランナー」と題したビデオで鑑賞。因みに奥さんは12人目のランナーでした。今年はお出雲駅伝、全日本学生駅伝と、駅伝二連勝を成し遂げ、意気上がる早稲田、1区から10区までのエントリー選手、区間順位予測と熱く語っていただきました。

何れにせよ東洋大との優勝争いになるだろうが、可能性は五分五分との事。東洋の山ノ神柏原とどのくらいの差で往路が終えられるかが勝負の分かれ目とのこと。その後新入会員3名の紹介があり懇親会に入りました。時宜を得た話に参加者全員「箱根駅伝」必勝を期し料理、お酒にと楽しく懇談を致しました。参加者25名。
(松浦 晋三郎/記)



け や き

①太陽が燦爛と降り注ぐ7月10日午後3時、14名の会員が分倍河原駅に集合、約2時間かけてサントリー武蔵野工場の見学と出来立てのモルツビールの試飲を楽しんだ後、再び駅に戻り、宮崎県名物の日南料理を肴に飲食・懇談に真夏の夜のひと時を過ごした。新人の自己紹介、既存会員の近況報告、稲門祭・納涼会等諸行事の説明の後、校歌を斉唱し次回の再会を約し解散した。(写真右)



②晩秋とはいえ盛夏を思わせる11月13日午後4時半から、経堂の和食・地酒・しゃぶしゃぶ料理「咲くら領」に過去最多

の30名の会員が集まり本年第3回目の懇談会を開催した。事務局より岩上会長、柏・鈴木両副会長、浜田幹事がご来賓され座を盛り上げた。岩上会長と柏副会長のご挨拶に次いで鈴木副会長のご挨拶と乾杯の音頭の後、恒例の新人の自己紹介、既存会員の近況報告、各種情報交換が一頻り終わったあと、銀座で法律事務所を開いている弁護士・宮崎孝先生による「法曹よもやま話」の講演に入った。先生が懇意にされている鳩山前首相一族に纏わる様々なエピソード、振り込め詐欺の原型である「オレオレ詐欺」第一号犯弁護士事件、我国は世界に比べ弁護士の数が少ないと言われるが、諸外国では日本の弁理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士等が全て弁護士に一括りされているため、これ等に従事している人々の数を合わせると必ずしも弁護士の人数が少ない訳では無いなど、難しい事柄もユーモアを交え分り易くお話しされ会員の共感呼んだ。会員相互の懇談に次いで浜田幹事の他のブロック会の状況説明、柏副会長の簡潔な閉会の辞に続き、岩上会長のリードによる校歌斉唱で楽しい懇親会を終了した。(写真左)
(下谷内 堯/記)



キャロット

11月27日(土)午後5時30分より、キャロットタワー26階スカイキャロットに於いて、キャロット会の忘年会を14名の出席で開催致しました。

世田谷稲門会ブロック担当役員(玉川会)の浜田康夫さんのスピーチと乾杯の発声で始まり、森昌治さん、川井泰彦さん、萩原健さん、東直彦さん、西喜永治さん、中井盛久さん、富塚兆弥、青木誠司さん、久保宏さん、加藤隆夫さん、守谷之男さん、遠藤智さん、藤井稔さんの順で、学校時代のこと、近況のスピーチを行いました。学校のクラブが一緒だったり、家が近かったり、また、尖閣諸島の問題など和気藹々と歓談致しました。

最後はビンゴゲームで自宅から持ち寄った埋蔵品、秘蔵品をお土産に持ち帰りました。

来年も11月26日(土)に同じスカイキャロットで開催する旨提案し、散会致しました。

(富塚 兆弥 / 記)



さくら

さくら会開催日：平成22年10月3日(日曜日)11:30 ~ 14:00

場所：桜新町、イタリア料理の『La Pianta』

前回までラピアンタのイタリア料理が好評だったので、会場をLa Piantaに致しました。参加者は総勢23名です。新入会員の梅田和子氏の自己紹介がありました。

岩上会長から、さくら会及び千歳会に対して、2010年度納涼会開催企画運営の要請があり、それに基づき、去る9月4日(土)、『世田谷稲門会東京湾クルージング』を開催致しました。参加者総勢は世田谷稲門会会員のご家族お子様等を含めて、92名でした。

『わが人生を語ろう』さくら会懇親会の主要テーマになっています。

今までやってきたこと、今もやっていること、今後もやりたいこと、年配の方が多いため健康のこと、海外旅行のこと、最近の世相、今年の景気、政治等、趣味でも過去の仕事でも第一の人生、第二の人生でも結構です。何かふつふつと燃える思いは誰でも持っていると思います。前回までに中瀬正一氏、前原祖彦氏、関根昌一氏、上田忠雄氏、栗山佳三氏、若林昭男氏、柴田昇氏、井山庄司氏、飯島勲氏、岡本一精氏、永井達也氏に語って頂きました。

今回スピーチをお願いした永井氏は、最近では中国語の勉強に精進されている由。従来の日本人の外国語の勉強は英語をはじめ西欧語学を中心とした勉強が多かったのですが、時代の流れで最近では中国語や韓国語の勉強にかわってきました。今世紀はアジアの世紀であり、アジアでは日中韓で物事が決まることが多くなってきたことに、反映されたものと思われれます。

(矢田 廣 / 記)

玉川

10月12日(火)上総富士ゴルフクラブにおいて、玉川会ゴルフ会が開催された。本部のゲスト森昌治さんを加えて、総勢15名である。うち夫婦は3組、女性は5名だった。

玉川会のゴルフ会は、最近バスパックを利用することが多く、当日も等々力駅近辺に集合し、バスに乗り換えた。

車中でわいわい言っているうちにゴルフ場についた。



当日の天気は曇りがちだったが、何事もなく、楽しくプレイは終了した。ゴルフの成績は、優勝 植原正人さんであるが、初参加のため、2位の森昌治さんが優勝となった。3位は高橋義幸さんである。なおブービーは、最近不調の井澤さんだった。

また、現地での野菜購入も恒例となり、今回も千葉県の新鮮で安い野菜をたっぷり買い込み帰途についた。

(真木 郁夫 / 記)

きぬた

去る11月10日、当会の今後の活動を考えるための“有志の会”を開きました。

その結果、まず1月の新年会のあと、2月中旬頃を目標に「食事会・懇談会」を催すことにしました。ゲスト・スピーカーは、内定しています。

来年は、多くの「会員」のご協力を得ながら、より多くの活動が出来るようになることを願っています。

どうか 皆さま よろしく お願いいたします。

(吉村 豪介/記)

千 歳

7月3日(土)、見学会ならびに懇親会開催

- ① 見学会 12時50分、京王線八幡山駅に集合、参加者8名。バスで千歳清掃工場へ。案内人による概要説明、ビデオ上映あり。終わって工場内の見学と質疑応答。隣接の千歳温水プールを見学して、徒歩で芦花恒春園～世田谷文学館を見学、千歳烏山の懇親会場へ。
- ② 懇親会 17時30分～19時30分、イタリア料理「アルターナ」。参加者26名。本部より岩上会長、麻生幹事長の出席をいただき、納涼会の共同開催ブロックであるさくら会の代表・矢田さんの参加も得て貸切、フリードリンク制で開催。会長より組織の現況と今後の見通しや問題点など、また納涼会の成功を願っての激励の言葉があり、当会の発展とお互いの健康を祈っての乾杯の音頭。宴会に入り各々イタリア料理にビール、日本酒、ワイン等お好みのアルコールで盃を交しながら楽しい歓談。鈴木世話人より「我が人生を語る」というテーマで現役時代から現在に至るまでの含蓄ある体験談や苦労話など約20分間の披露。終わって席を移動しながらの関心のある話題に花を咲かせての自由な交流。あっという間に時間も過ぎて、麻生幹事長の締めで次回忘年会での再会を約して散会。(武藤 哲/記)

会員の広場

早稲田に導かれて

渡邊 那智子(昭三六年文)



入学会にきてくれた母は、黒づくめの男子学生の群れに驚き、大学生の自分は何よりも学業であるそれとなく諭し、デパートで新入生の服を揃えてくれた。カーキ色のジャンパーに白黒格子縞のタイトスカート、辛子色の短靴、今思えばドナルドダックかのらくろ二等兵のような出で立ちだが、戦後の物不足からようやく脱け出しつつあった時代、入学の喜びと重なる嬉しい出来事だった。

毎日眺めてかよったことが、いつしか私の中に開放的な心を育て雑草のように逞しく生きる力を養ってくれたのだから。ここ二〇年間、次々と家族三人の看病に明け暮れたが、最後に看取った母は、夜中まで立ち働く私の姿を床の中からじっと見詰め、「やっぱり早稲田ね」と呟いたことがあった。

私と早大との縁は、小学生のとき新聞でスケート選手に加藤禮子さんの記事を見たことから始まる。短いプリーツスカートとスケート靴、颯爽と立たれた全身の写真は知的な美しさを湛え、早大文学部という文字がひとときわ鮮やかに目に映った。大きくなった私にもここに行きたい。新しい時代の自立する女性への密かな憧れの灯がともった。

その後兄が英語を教えていた方が早大に入学されたことで、早大は一段と身近になった。「歴史は時代順に並べる問題」「英単語さえ覚えておけば」等、小耳に挟んだ合格体験談をもとに、高三の夏先ず日本史の年代を歌にした。一万語を超

える英単語を詰め込み、いよいよ明日が受験という日の夜、前年度の問題を解いてみるとどれも難問である。ところが幸運なこと当日出た日本史の問題には時代順に並べるものがあり、英語の方にもREで始まる単語を十個挙げよという問題が出たのだった。

英文学史と英米現代詩を習った大澤實先生は、授業の初日、「君達には期待していない」と仰った。それは、自分の価値を問う質し、そこから自分に何が出来るかを考え抜いてみよという意味ではなかったか。そのことに気付いたのは実に二〇余年後、私が詩作というものに巡り合ったときである。季刊詩誌「地球」に属し、意識下の言語から成る特異な詩を書いて来たが、英訳して応募した作品で二〇〇四年韓国の世界詩文学研究会から第一八回 KAYA GOLD CROWN WORLD POETS AWARD(世界詩伽椰金冠王冠賞)を受賞した。

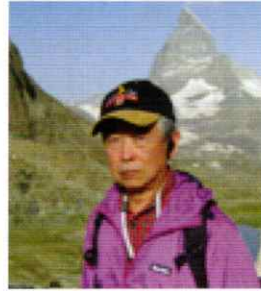


も、独創性を厳しく要求された大澤先生の御薫陶のお蔭であると改めて感謝の念を深くする。

英米小説を教えて下さった谷崎精二先生は、定年で引退されるに当たり、「人生は勝つことでなく参加することである。ボタンを掛け違えたと思つたら掛け直せばいい」というお言葉を下さった。若き日にこの世の辛酸を嘗め尽された先生だからこそ、教え子達の長い前途を深く気遣つて下さつたに違いない。御助言を胸に畳み、誤つては直し、直しては誤りつつ生きてきた。そのようにしてこれからも決してあきらめることなく残りのいのちを全うしなさいと、あの常に人生に真向うように姿勢を正しく保たれた長身の先生が、今も半世紀の彼方から語りかけて下さっているような気がする。

スイスアルプス ハイキングの旅

内田 孝 (昭和三六年商)



JTBの団体ツアーで七月六日〜一三日八日間の旅行に参加しました。ねらいは二日間のハイキングと水彩で描くスケッチです。

スイスのハイキング事情はと言うと、ロープウェイや登山電車が整備されており容易に二、五〇〇位の高山に登れるので、森林限界を超えたコースが多い。一般的にスイスでは常時雪のある高山を歩くのを登山と言ひそれ以外をハイキングと呼んでいます。八日の旅のうち主なところについてお話しします。

第三日目 宿泊したグリーンデルワルト村はアイガー(標高三、九七五呎)、メンヒ(四、〇九九呎) ユングフラウ(四、一五八呎)の山々が間近に迫り、

山麓の緑の牧草地にはシャレー(山小屋、ロッジ)が点在しスイスらしい風景が楽しめる。

私達が泊ったホテルの窓からは早朝明るさを増すにつれ姿を現す山麓の風景が刻一刻と変化し名峰アイガーが眼前に迫ってくる様子が素晴らしかった。

ハイキングはユングフラウ登山鉄道アイガーグレットチャー駅(標高二、三二〇呎)からクライネシャイデック駅(標高二、〇六一呎)までの二・五キロ所要時間五十分の下りコースで迫力のアイガー氷河を間近に眺め、歩くコースの両側はキンポウゲの群落で一面黄色に染まっていた。ガイドは長野県大町出身の現地日本人女性がつとめてくれた。

アルプスの三大名花、エーデルワイス、アルペンローゼ、トランペトリンドウも見られた。七月は花の種類が最も多くハイキングには最適だった。

第四日目あの「氷河特急」にアンデルマット駅で乗車しマッターホルンの麓ツェルマット駅へ。私達が帰国した十日後に、あのカーブが多く制限速度は三五キロのところ



を五六キロで走り脱線事故を起こし日本人乗客一人が死亡したニュースが飛び込んできた。

第六日目 朝焼けのマッターホルン(標高四、四七八呎)のご来光を見るため午前四時一〇分にホテルを出発しゴルナーグラート登山鉄道でリッフェル湖畔へ、その後再度鉄道に乗車しゴルナーグラート展望台(三、〇八九呎)へ、モンテローザ(標高四、六三四呎) リスカム(標高四、五二七呎) マッターホルン、ゴルナー氷河を見て、リッフェルベルク駅(標高二、五八二呎)までの三キロ、所要時間一時間のハイキングをした。斜

面にはアルプススミレ、ワタスゲオキナグサが咲いていた。マッターホルンはスイスでは最も有名な山といっても過言ではない。聳え立つ鋭い山容は印象的で神々しかった。午後は自由行動だったので参加者は食事、ショッピング、散策で過ごした。私は念願のスケッチをしまった。ツェルマットの街から見上げた教会とマッターホルンの絵です。旅行中は好天に恵まれ、日本では見られない氷河に覆われた壮大な山々の風景を満喫できて幸せでした。

寄稿歓迎

「会員のひろば」への寄稿をお待ちしています。

詳細は編集委員まで

ご一報ください。



新入会・退会・住所変更等のお知らせ 平成22年11月20日時点
 名簿〔平成21年3月発行〕後、会報40～44号掲載以降分〔敬称略〕

〔新入会員〕

氏名	卒年・学部	郵便番号	住所	電話	FAX
河津 延樹	昭51 法				
斉藤 治雄	昭38 法				
岩嶋 東也	昭41 政経				
西喜 永治	昭35 文				
黒岩千鶴子	昭36 文				
篤 勝秋	昭42 商				
林 讓	昭43 商				
北嶋 敦子	昭36 文				
黒澤 孝之	昭36 商				
橋本 経男	昭46 商				

個人情報につき不掲載

〔退会会員〕

氏名	卒年・学部	理由
木村 次朗	昭32 政経	
長谷川 清	昭23 政経	
千葉 里奈	平08 法	
小川 稔	昭45 理工	
岡田 吉郎	昭35 理工	
幸田 清和	昭36 理工	
岡本 治基	昭44 理工	
菊田 顕義	平17 商	
須賀 英明	昭42 政経	
高橋善一郎	昭31 商	
水澤美栄子	昭54 文	



© WASEDA UNIV.

〔住所変更・訂正〕

矢後 勝洋	昭40 政経	
河西 英治	昭53 理工	

事務局だより

二二年度の主な行事も来春一月二二日の新春懇親会を残すだけとなりました。一面にご紹介のとおり会場はホテルグランドパレスです。今回は会員皆様のご要望もあり開催時間を昼間に設定致しました。今年五月の総会から利用した交通便利なところです。多くの会員のご出席をお待ち致しております。

さて当会の会員数は五百人を目標とする増強活動の成果により一〇月末現在で四百二十九名となりました。

ただ、ご縁があつて入会されたのに、ご多忙のせい、あるいは別の会合へもご出席されない方々がおられます。すべての行事にご参加いただくことは無理としても、お近くのブロック主催の会合に、お顔を出してみてください。

また何らかの部会（一四もあり）に所属すれば同好のお仲間がいます。稲門会員に未永く席を置いてお楽しみ下さい。

会員数が年々増えて喜ばしいことです。一方名簿のメンテナンスに作業時間を取られるようになりました。住所や電話番号変更は早めにご連絡願います。

また開催行事への参加者と会費の確認そして年会費の入金管理は大わらわです。

行事参加申込の期限厳守や年会費の速やかな払込に皆様のご協力を併わせてお願い申し上げます。

編集委員 & HP制作委員 募集

昭和四〇年以降卒業の方で会報編集・HP制作に興味をお持ちの方の参加をお待ちしています。幹事または編集委員にご連絡下さい。

新編集委員

今号から新たに会報の編集委員として

・川村保夫 広報統括副会長 (昭三四商)

・江原利次氏 (昭三二商)

・若林昭男氏 (昭三二理)

が加わりました